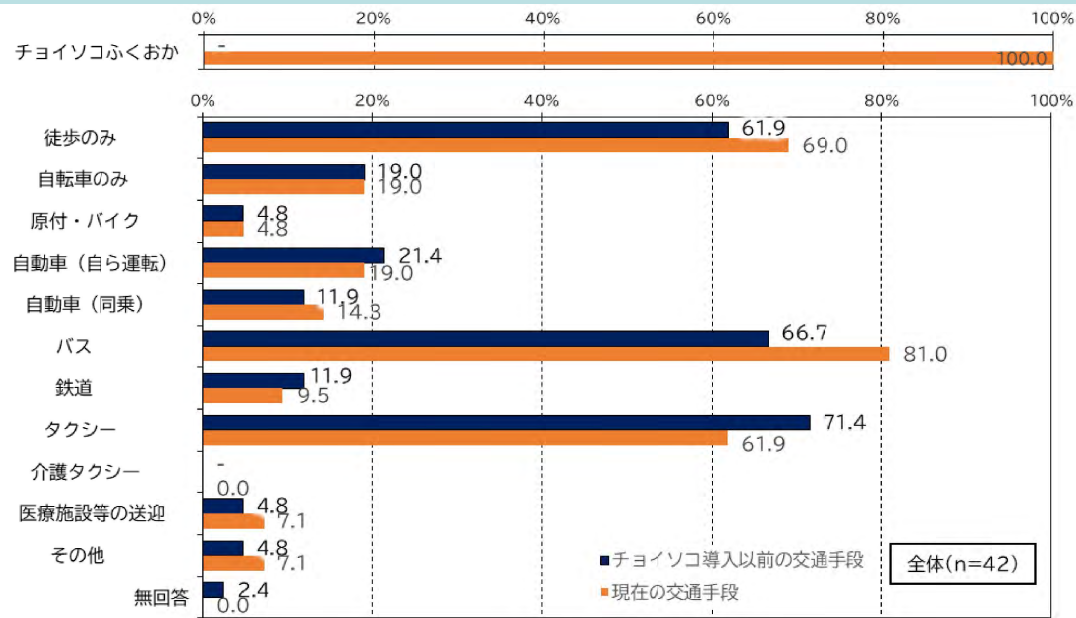


5.アンケート調査結果

(2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート
＜チョイソコ利用者の交通手段（チョイソコ導入前後）＞

- ・日常生活（買い物、通院、通勤、地域の集まりなど）の外出にチョイソコを使用している方の、チョイソコ導入前後の交通手段を比較すると、「バス」が14.3%、「徒歩のみ」が7.1%が増加する一方、「タクシー」が9.5%、「鉄道」、「自動車（自ら運転）」が2.4%減少している。
- ・6割以上の方が、チョイソコと、バス・タクシーの既存の公共交通を併用している。



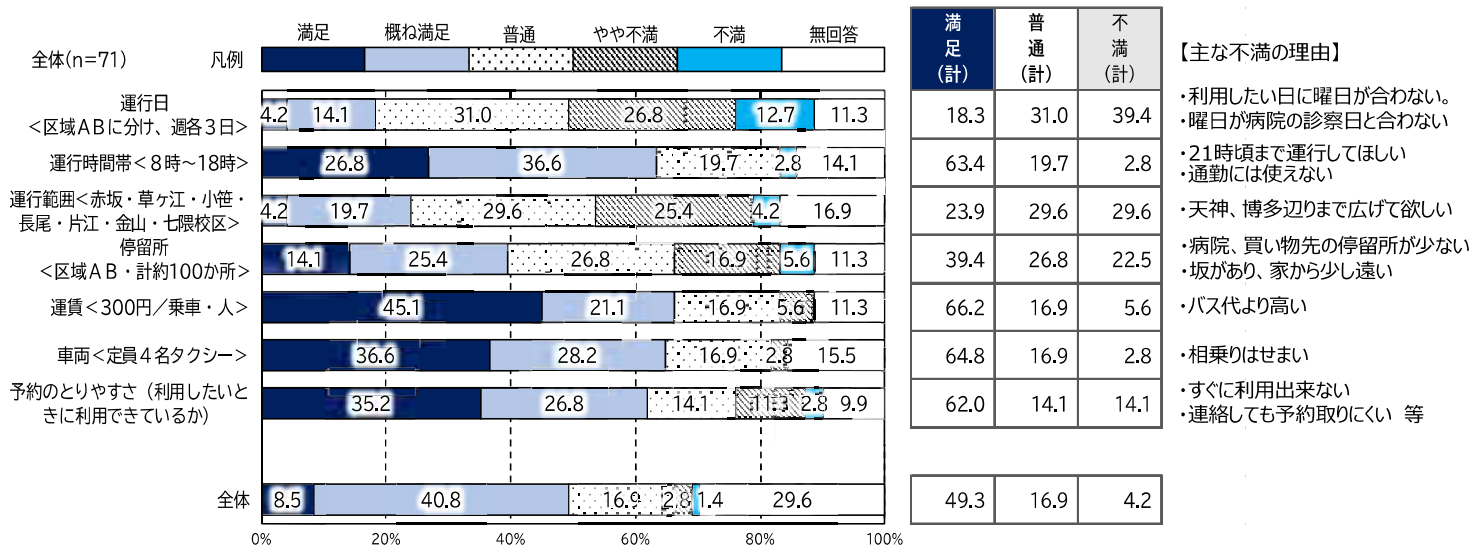
5.アンケート調査結果

(2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

- ・「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方に、「チョイソコふくおか」の評価について尋ねた。
- ・「満足」と「概ね満足」を合わせた『満足（計）』の割合は、「運行時間帯＜8時～18時＞」、「運賃＜300円/乗車・人〉」、「車両＜定員4名タクシー〉」、「予約のとりやすさ（利用したいときに利用できるか）」で6割超を占める。また、「全体」では約5割となっている。
- ・一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満（計）』の割合は、「運行日＜区域ABに分け、週各3日＞」で39.4%と最も高く、次いで、「運行範囲＜赤坂・草ヶ江・小笹・長尾・片江・金山・七隈校区ほか＞」で29.6%、「停留所＜区域A・B・計約100箇所＞」で22.5%。また、「全体」では4.2%となっている。

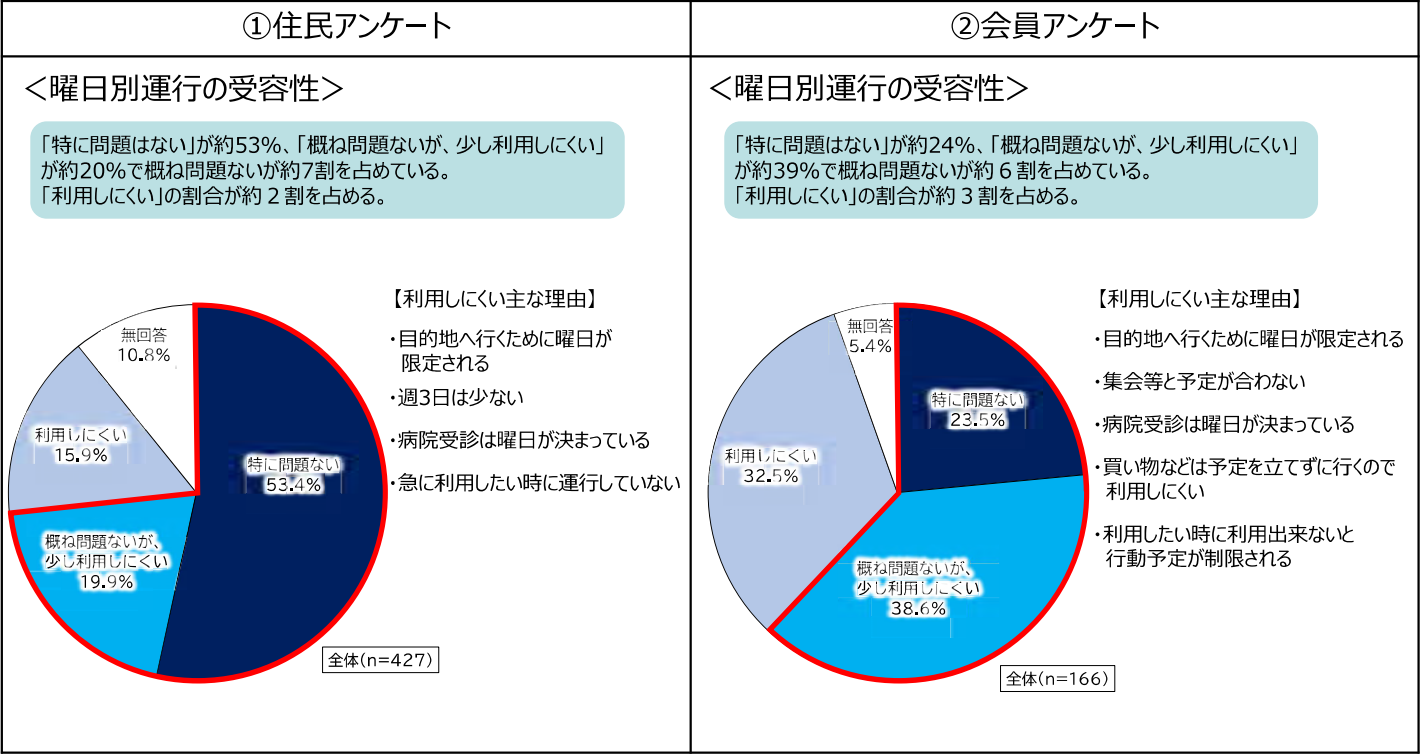
＜満足度＞



5.アンケート調査結果

(2)主な調査結果

○その他



6.ヒアリング結果

(1)地域の主なご意見（R6.1月中下旬：各校区ヒアリング）

- チョイソコは、**高齢者や公共交通が不便な地域の住民を中心に、非常に助かっている**という声を聞いている。
- チョイソコの利用でバスでは行きづらい方面にも出かけられるようになった。
- 公民館まで利用できるようになって便利になった。公民館では高齢者向けの行事もたくさん行っており、その日に利用している方もいる。
- 曜日別だと予定と合わないという声が多いならば、月水土、火木金など、曜日別の組み合わせを変えてみるのも一つだが、**高齢者はやっと慣れてきたところであり、運行内容を変えると対応に困るかもしれない。**
- 本来は毎日運行してもらえるのが良いと思うが、**利用に慣れてくれば、曜日別運行も浸透していくのではないかな。**
- 一定程度の認知はあると思うが、道半ばで、**まだまだ認知が足りない。**
- チョイソコを知ってもらったあとで、**1回目の利用につなげるのが難しい。**高齢者の行動は急に変わらない。**周知に時間がかかる。**
- 公民館・自治協だよりで周知しながら、**個別の団体で説明**するなど、色々並行して取り組んでいきたい。周知で**利用者が増えてくれば、口コミ効果で広まっていくのではないかな。**
- この取組みは**今後必要**であると考えている。タクシーもつかまりにくくなっており、採算もあると思うが、住民の移動の確保は重要であり、**運行を継続**願いたい。そのためには会員や利用者を増やさないといけないため、しっかり取り組んでいきたい。

(2)交通事業者の主なご意見（R6.1月下旬：チョイソコグループヒアリング）

- 高齢者を中心に利用され、外出が増えた、便利になって助かっている**という声を受けている。
- 一方で、曜日別運行による利用の難しさを訴える利用者も多い。
- 運行エリアの範囲は、現状では妥当と考えるが、停留所の増設を求める意見も多いため、住民の行きたい場所がきちんと停留所になっているか再考していきたい。
- 曜日が合わないという意見については、**車両も限られており、現在の区域A・Bを入れ替えたり、奇数日・偶数日で運行したりといったような工夫も検討が必要かもしれないが、今の利用者への影響は懸念される。**
- 会員登録のベースは東区に比べるとややゆっくらだが、**口コミで徐々に増えており、他都市と比較しても標準的。**
- スポンサーとの交渉は、曜日別運行のため、運行曜日が少なく、他エリアよりも交渉が難航している。**曜日別運行を考慮したプランの検討や他エリアと同様に現行より上のプラン（2万円～）を増やしても良いと感じている。**

7.まとめ

項目	①運行サービス
結果	○会員(R6.2：710人)及び利用者(R6.2：区域A 16人/日、区域B 13人/日)は増加傾向にはあるが、利用目標達成（40人/日）には至っていない。 ○サービスについて約5割が満足と回答。一方、運行日等の改善要望あり。 ○曜日別運行について約6割が概ね問題ないと回答。 ○認知度（内容まで知っている）は約1割と低い状況。

項目	②運営面
結果	○利用者及びスポンサー数(R6.2：15停留所)が徐々に増え、収支率は増加傾向だが、R6.2月で収支率12%、欠損(負担)額は約99万円/月。

項目	③地域住民のQOL
結果	○外出機会が増えた方が約4割。

項目	④地域課題の適合性
結果	○利用経験者の7割が高齢者であり、通院や買い物先等への移動のための交通手段の一つとなっている。